

産学連携学会

第19回
大会

名古屋大会 大会プログラム

日時

2021年
6月3日(木)・4日(金)

場所

Microsoft Teams による
オンライン開催

主催

特定非営利活動法人 **産学連携学会**

共催

国立大学法人 **名古屋工業大学**

後援

知的財産戦略本部、文部科学省、経済産業省、農林水産省
国立研究開発法人科学技術振興機構、
国立研究開発法人日本医療研究開発機構
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
独立行政法人中小企業基盤整備機構、愛知県、名古屋市

(予定)

大会運営

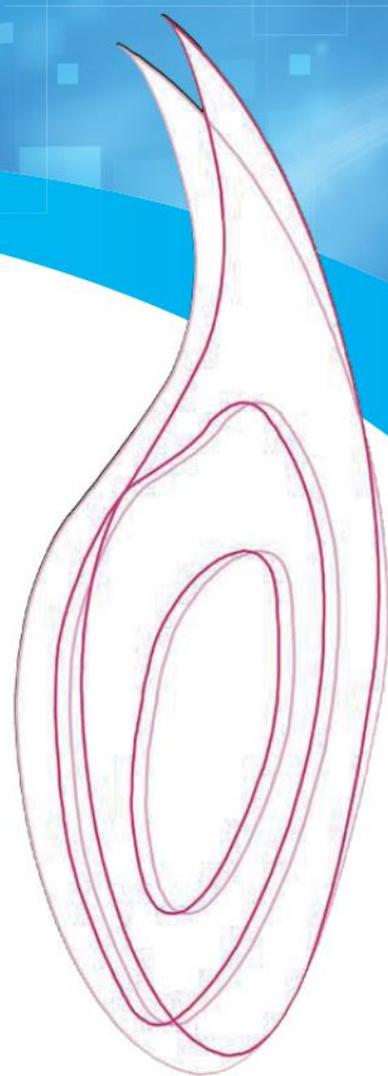
大会長 **木下 隆利**

名古屋工業大学長

実行委員長 **江龍 修**

名古屋工業大学 理事

(研究企画・評価・財政基盤強化企画担当)・副学長・
産学官金連携機構長



プロメテウスの火

人類は火とそして知恵を授かり、しかし未来を知る能力を失った。
代わりに得たのは、希望であった。今、私たちは破壊と創造の火を
燃やす。

お問い合わせ

大会事務局

TEL

052-735-5510

E-mail

sangaku2021@adm.nitech.ac.jp

目 次

| | |
|----------------|---|
| ご参加の皆さまへ | 1 |
| 全体プログラム | 2 |
| タイムテーブル | 5 |
| 発表プログラム | 8 |

産学連携学会第 19 回大会【名古屋大会】

会 期：2021年6月3日（木）・4日（金）

会 場：Microsoft Teams によるオンライン開催

ご参加の皆さまへ

1. 発表要綱

- 1) 講演番号は、日付、発表ルーム、セッション開始時刻、発表順の各英数字で構成しています。
- 2) 一般公演はスライドを画面共有して頂き、ライブ形式で行います。各セッションで1講演につき10分間の発表して頂き、残り時間で質疑応答をして頂きます。
- 3) オーガナイズドセッションの時間配分は座長に一任しております。

2. 座長の方へのお願い

担当するセッションの開始時間10分前までにMicrosoft Teamsの該当するルームへご参加ください。

3. 学会の形式について

開会式、特別講演、シンポジウムはウェビナー形式で配信いたします。一般講演は会議形式で開催いたします。発言しないときはカメラとマイクを切った状態で入室して頂くようお願いいたします。詳細は別途ご連絡いたします。

4. 接続テストについて

必要に応じて接続テストを実施いたします。画面共有、カメラ、マイクテストなどご希望の方は大会事務局（sangaku2021@adm.nitech.ac.jp）までメールにてご連絡して頂くようお願いいたします。件名は【接続テスト_氏名】と記載して頂くようお願いいたします。

5. 大会運営

大会事務局：名古屋工業大学

大会長：木下 隆利 学長

実行委員長：江龍 修 理事（研究企画・評価・財政基盤強化企画担当）・
副学長・産学官金連携機構長

連絡先：〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町木市 29 番

TEL：052-735-5510

E-Mail：sangaku2021@adm.nitech.ac.jp

全体プログラム

開会式

【日時】 6月3日（木） 9：00～9：30

【会場】 Microsoft Teams によるオンライン開催

特別講演

【日時】 6月3日（木） 13：00～14：00

【会場】 Microsoft Teams

【講師】 ボーイングジャパン株式会社 ディレクター 政府関係/渉外担当
小林 美和

【テーマ】 「グローバルな視点からの人材育成/産学官金連携」

シンポジウム

テーマ1：「イノベーションを起こす社会の勇気を産学官金連携から」

【日 時】 6月3日（木）14：00～16：00

【会 場】 Microsoft Teams によるオンライン開催

【概 要】

産業界が大学に期待すること、大学が求める産業界との連携について意見交換をすることで、産学官金連携活動によるイノベーションを起こすにはどうしたら良いか、日本が今後生き残っていくにはどうしたら良いか討論していきます。

【パネリスト（敬称略）】

日本ガイシ株式会社 取締役常務執行員 研究開発本部長 開発委員長 七瀧 努
ブラザー工業株式会社 代表取締役会長 小池 利和
株式会社デンソー シニアアドバイザー 伊藤 正彦
ボーイングジャパン株式会社 ディレクター 政府関係/渉外担当 小林 美和
国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 副総長（学術研究・産学連携担当）
学術研究・産学官連携推進本部長 佐宗 章弘
公立大学法人名古屋市立大学 理事（研究・産学官イノベーション） 今泉 祐治

【コメンテーター（敬称略）】

文部科学省 科学技術・学術政策局 産学連携・地域支援課 課長 齊藤 卓也
経済産業省 産業技術環境局 大学連携推進室 室長 大石 知広
名古屋市経済局 産業労働部 部長 吹上 康代

【ファシリテーター（敬称略）】

国立大学法人名古屋工業大学 理事・副学長・産学官金連携機構長 江龍 修

シンポジウム

テーマ2：「食工連携がもたらす健康で笑顔溢れる社会」

【日 時】 6月4日（金） 9：00～11：00

【会 場】 Microsoft Teams によるオンライン開催

【概 要】

世界人口が2050年には90億を超えると見込まれる中、食料の飛躍的な生産性向上と同時に、環境にやさしい持続可能な社会を構築することが重要です。健康で笑顔溢れる社会の実現に向けて、食のイノベーションに向けた食工連携について議論していきます。

【パネリスト（敬称略）】

オイシックス・ラ・大地株式会社 取締役 経営企画本部 本部長 **松本 浩平**
株式会社デンソー フードバリューチェーン事業推進部 部長 **伊藤 高順**
株式会社浅井農園 代表取締役／株式会社アグリッド 代表取締役 **浅井 雄一郎**
国立大学法人東海国立機構 名古屋大学大学院生命農学研究科
応用生命科学専攻 食品機能化学研究室 教授 **柴田 貴広**
学校法人名城大学 副学長・研究担当理事 薬学部 教授 **平松 正行**

【コメンテーター（敬称略）】

農林水産省 農林水産技術会議事務局 産学連携室 室長 **齊賀 大昌**

【ファシリテーター（敬称略）】

国立大学法人名古屋工業大学 理事・副学長・産学官金連携機構長 **江龍 修**

| 6月3日(木) | | | | | | |
|---------|------------------------|---|----------------------|---------------------|-------|--|
| 開始時刻 | ウェビナー | ルームA | ルームB | ルームC | 開始時間 | |
| 9:00 | 開会式 9:00-9:30 | | | | 9:00 | |
| 10:00 | | 産学官連携プロジェクト 森進太郎 | 人材育成 佐藤三郎 | 組織間連携 杉岡秀紀 | 10:00 | |
| 10:15 | | 八神寿徳 林永周 木村雅和 | 勝川俊雄 村上画里 佐藤均 | 上重達夫 殿岡裕樹 | 10:15 | |
| 10:30 | | 休憩 | 休憩 | 休憩 | 10:30 | |
| 10:45 | | | | | 10:45 | |
| 11:00 | | 産学官連携プロジェクト 八神寿徳 | 人材育成 勝川俊雄 | 組織間連携 上重達夫 | 11:00 | |
| 11:15 | | 川名優孝 中澤慶久 森進太郎 | 佐藤三郎 高濱優子 尾内敏彦 | 杉岡秀紀 遠藤恵子 | 11:15 | |
| 11:30 | | | | | 11:30 | |
| 11:45 | | | | | 11:45 | |
| 12:00 | | 昼休憩 12:00-13:00 | | | 12:00 | |
| 13:00 | 特別講演 13:00-14:00 | | | | 13:00 | |
| 14:00 | シンポジウム1 14:00-16:00 | | | | 14:00 | |
| 16:00 | | [OS] ベンチャー・スタートアップの創出を 目指した東海地域の取組みについて 矢野卓真 | リエゾン活動 川名優孝 | 産学官連携プロジェクト 崎山智司 | 16:00 | |
| 16:15 | | | 樋口裕思 大石博海 石川洋平 | 中村守彦 山本一枝 | 16:15 | |
| 16:30 | | | 休憩 | 休憩 | 16:30 | |
| 16:45 | | 野原かほり、八神寿徳、矢野卓真 柴山政明、鷲見敏雄 | リエゾン活動 樋口裕思 | 産学官連携プロジェクト 中村守彦 | 16:45 | |
| 17:00 | | | 川名優孝 中田泰子 | 福岡美恵子 | 17:00 | |
| 17:15 | | | | | 17:15 | |
| 17:30 | | | | | 17:30 | |

*青字は座長

| 6月4日(金) | | | | | | |
|---------|--|----------------------|-----------------|--------------------------------|----------------------|-------|
| 開始時間 | ウェビナー | ルームA | ルームB | ルームC | 開始時間 | |
| 9:00 | シンポジウム2 9:00-11:00 | | | | 9:00 | |
| 11:00 | 知的財産 湯本長伯 | 山口佳和 中川勝吾 徳川和久 | 人材育成 | 産学官連携に関連した 大学の法令等順守 緒方智成 | 11:00 | |
| 11:15 | | | 伊藤正実 | | 石塚悟史 南了太 | 11:15 |
| 11:30 | | | | | | 11:30 |
| 11:45 | | | | | | 11:45 |
| 12:00 | | | 昼休憩 12:00-13:00 | | 12:00 | |
| 13:00 | 【OS】 スタートアップ・中小企業等による イノベーション創出と大学の関わり方 馬場大輔 津田健人、鈴木孝征 平山太市、片山精 | | 産学官連携政策 | 産学連携論 川崎一正 休憩 | 13:00 | |
| 13:15 | | | 徳川和久 | | 山本浩平 湯本長伯 緒方智成 | 13:15 |
| 13:30 | | | | | | 13:30 |
| 13:45 | | | | | | 13:45 |
| 14:00 | 【OS】 安全保障輸出管理に関する取り組み 宮林毅 山越祥子、境野明、 佐藤弘基、石川綾子 | | 産学官連携政策 | 産学連携論 南了太 休憩 | 14:00 | |
| 14:15 | | | 福田寛 | | 湯本長伯 柴崎香織 六沢翼 | 14:15 |
| 14:30 | | | | | | 14:30 |
| 14:45 | | | | | | 14:45 |
| 15:00 | | | 産学官連携政策 | 産学連携プロジェクト 片山 精 | 15:00 | |
| 15:15 | | | 中田泰子 | | 馬場大輔 湯本長伯 佐藤拓也 | 15:15 |
| 15:30 | | | | | | 15:30 |
| 15:45 | | | | | | 15:45 |
| 16:00 | | | 産学官連携プロジェクト | | 16:00 | |
| 16:15 | | | 桑島修一郎 | | 福田寛 関口英里 中嶋一彦 | 16:15 |
| 16:30 | | | | | | 16:30 |
| 16:45 | | | | | | 16:45 |
| 17:00 | | | | | 17:00 | |
| 17:15 | | | | | 17:15 | |

*青字は座長

一般講演

【日時】 6月3日(木) 10:00~17:30
6月4日(金) 11:00~17:30
【会場】 ルームA~C

オーガナイズドセッション

1 「ベンチャー・スタートアップの創出を目指した東海地域の取組みについて」

座長：矢野 卓真（名古屋工業大学）

【日時】 6月3日(木) 16:00~17:30
【会場】 Microsoft Teams ルームA

2 「スタートアップ・中小企業等によるイノベーション創出と大学の関わり方」

座長：馬場 大輔（経済産業省）

【日時】 6月4日(金) 13:00~14:30
【会場】 Microsoft Teams ルームA

3 「安全保障輸出管理に関する取組み」

座長：宮林 毅（名古屋大学）

【日時】 6月4日(金) 14:30~16:00
【会場】 Microsoft Teams ルームA

発表プログラム

一般講演・オーガナイズドセッション

6月3日（木）第1日目 ルームA 10:00～17:30

産学官連携プロジェクト 座長：森 進太郎 10:00～10:45

- 603A1000-1 大学ブランド商品の販売継続性の要因に関する分析と考察
○八神寿徳（三重大学）、中川勝吾（愛媛大学）、
小玉一徳（三重大学）
- 603A1000-2 産学官連携による持続可能なエコシステム構築の試み
○林永周（立命館大学）、柴田晃（立命館大学）
- 603A1000-3 地方大学における産学連携についての考察
○木村雅和（静岡大学）

産学官連携プロジェクト 座長：八神 寿徳 11:00～11:45

- 603A1100-1 産学医金連携による地域ビジネスの構築
○川名優孝（東京海洋大学）、磯崎哲男（小磯診療所）、
大西達典（株式会社企画）、浜付朋武（湘南信用金庫）、
刑部真弘、清水悦郎（東京海洋大学）
- 603A1100-2 国産漆研究開発プラットフォーム設立とウルシ栽培の開始
○中澤慶久、川瀬凜、栗木隆吉（徳島大学）
- 603A1100-3 産学連携による地域共創に資する店舗素材の提供と活用
～スターバックス コーヒー 金沢百番街 Rinto 店との取り組み～
○森進太郎、中田泰子（北陸先端科学技術大学院大学）
中川拓真、山下葉子（スターバックスコーヒージャパン株式会社）

オーガナイズドセッション

16:00~17:30

ベンチャー・スタートアップの創出を目指した東海地域の取組みについて

座長：矢野 卓真（名古屋工業大学）

オーガナイザー： 矢野 卓真

- 603A1600-1 大学発スタートアップが育つ下地と、これからのインキュベーション
○野原 かほり(名古屋大学)
- 603A1600-2 地方中規模総合大学におけるアントレプレナー育成取組みの意義と課題
○八神 寿徳(三重大学)
- 603A1600-3 技術開発ベンチャーを創出する試み
○矢野 卓真(名古屋工業大学)
- 603A1600-4 「Aichi-Startup 戦略」に基づくスタートアップ支援の展開
○柴山 政明(愛知県)
- 603A1600-5 スタートアップ・エコシステムの形成に向けて
○鷺見 敏雄(名古屋市)

6月3日(木) 第1日目 ルームB 10:00~17:30

人材育成 **座長：佐藤 三郎** **10:00~10:45**

- 603B1000-1 水産海洋 IOF プログラムによる研究支援人材の育成について
○勝川俊雄、川名優孝（東京海洋大学）
- 603B1000-2 美大における知的財産教育
○村上画里（東京造形大学）
- 603B1000-3 産学連携によって生まれたプロジェクト
○佐藤均、松崎嵯也香、横山桂大、原 駿一郎、牧野菜那子
（株式会社丸八テント商会）

人材育成 **座長：勝川 俊雄** **11:00~11:45**

- 603B1100-1 SDG's 実践地元企業と連携したオンラインキャリア教育の実践
○佐藤三郎（佐賀大学）
- 603B1100-2 社会人基礎力を高める産学連携型アクティブラーニングの教育的効果
○高濱優子（星城大学）
- 603B1100-3 アントレプレナーシップ教育におけるオンライン授業の事例研究
○尾内敏彦、尾崎典明、五十嵐浩也、西野由高（筑波大学）

リエゾン活動 座長：川名 優孝 16：00～16：45

- 603B1600-1 オープンイノベーション活動成果－産学官連携に関する考察－
○樋口裕思（大阪ガス）
- 603B1600-2 コロナ禍に措けるコーディネーターの役割
○大石博海（長崎大学）
- 603B1600-3 若手産学連携コーディネータの育成IV
－人財育成を軸としたマッチングラボ－
○石川洋平、城門寿美子、古瀬英機、清水暁生、野口卓朗、
伊野拓一郎、太田順一郎、佐藤三郎（有明高専）

リエゾン活動 座長：樋口 裕思 17：00～17：30

- 603B1700-1 大学における地域サテライトの役割
○川名優孝、小松朋子、設楽愛子、勝川俊雄、（東京海洋大学）
- 603B1700-2 コロナ禍における大学発オープンイノベーションイベントの
開催
○中田泰子（北陸先端科学技術大学院大学）

6月3日(木) 第1日目 ルームC 10:00~17:30

組織間連携 座長：杉岡 秀紀 10:00~10:30

- 603C1000-1 産学連携を支える学金連携
○上重達夫(東京大学大学院)
- 603C1000-2 大学と金融機関とのジョイントファンドによる研究助成制度
○殿岡裕樹(琉球大学)、翁長良樹(沖縄銀行)、
具志堅興治(琉球大学)

組織間連携 座長：上重 達夫 11:00~11:30

- 603C1100-1 官民連携による地域づくり事例ー複業(パラレルキャリア)と
外部人材活用を視座としてー
○杉岡秀紀(福知山公立大学)
- 603C1100-2 地域における産学官連携ネットワークの役割(岩手大学 INS
の事例から)
○遠藤憲子(独立行政法人経済産業研究所)

産学官連携プロジェクト 座長：崎山 智司 16:00~16:30

- 603C1600-1 コロナ禍での産学官連携と研究成果の地域社会への還元
○中村守彦(島根大学)
- 603C1600-2 バーチャルとリアルの融合で加速する模型利用の世界
○山本一枝(株式会社ウェザーコック)

産学官連携プロジェクト 座長：中村 守彦 16:45~17:15

- 603C1645-1 産学官連携による宅配便の再配達削減に関する検討
○崎山智司、杉井 学(山口大学)
- 603C1645-2 ローカル酵母を用いた地域のものづくりへの取り組み

○稲岡美恵子（鳥取大学）

知的財産 座長：湯本 長伯 11:00~11:45

- 604A1100-1 国公立大学の特許出願件数の長期的な傾向
○山口佳和（千葉工業大学）
- 604A1100-2 他機関のリソースを活用した海外への技術移転の試み
○中川勝吾、山川拓哉（愛媛大学）
- 604A1100-3 知財収入の増大へ向けたタスクフォース活動
○徳川和久、尾内敏彦、野村豪、大塚伸恵、西野由高
（筑波大学）

オーガナイズドセッション 13:00~14:30

スタートアップ・中小企業等によるイノベーション創出と

大学の関わり方

座長：馬場 大輔（経済産業省）

オーガナイザー：馬場 大輔（経済産業省）

- 604A1300-1 新日本版 SBIR 制度の目指すべき方向性
○津田健人（中小企業庁経営支援部技術・経営革新課
課長補佐）
- 604A1300-2 大学発スタートアップの研究開発における未来志向型の課題
対応
○鈴木孝征（株式会社 Photo electron Soul）
- 604A1300-3 スタートアップ・中小企業等との産学連携を支える未来志向
型の大学の関わり方
○平山太市（茨城大学）
- 604A1300-4 若手研究支援人材の未来志向型の産学連携への期待

オーガナイズドセッション

14：30～16：00

安全保障輸出管理に関する取り組み

座長：宮林 毅（名古屋大学）

オーガナイザー：宮林 毅（名古屋大学）

- 604A1430-1 安全保障輸出管理を取り巻く世界情勢
 ○宮林 毅（名古屋大学）
- 604A1430-2 大阪大学の留学生受入にかかる安全保障輸出管理の特徴的取
 り組み
 ○山越 祥子（大阪大学）
- 604A1430-3 留学生等受入れ時の安全保障輸出管理の取り組み
 ○境野 明（筑波大学）
- 604A1430-4 一元的な大学安全保障管理
 ○佐藤 弘基（九州大学）
- 604A1430-5 輸出管理他トータルリスクマネジメントについて
 ○石川 綾子（名古屋大学）

6月4日（金）第2日目 ルームB 11:00~17:30

人材育成 **座長：伊藤 正実** **11:00~11:30**

- 604B1100-1 土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業（土佐 FBC）
のこれまでとこれから
○石塚悟史（高知大学）
- 604B1100-2 教育系産官学連携の一考察
○南了太（京都精華大学）

産学官連携政策 **座長：徳川 和久** **13:00~13:45**

- 604B1300-1 マッチング成立を指標とした Healthcare Innovation Hub
（イノハブ）による産学連携活動の解析
○山本浩平（東京医科歯科大学/経済産業省）
- 604B1300-2 産学連携学会活動における商標「プロメテウスの火」の設計と
役割に関する考察その2
－理念・象徴的マークの意味と学会活動振興への活用
○湯本長伯（社会構造設計研究所）
- 604B1300-3 熊本大学における産学連携制度の改革 ～間接経費の改定の
影響と効果～
○緒方智成（熊本大学）

産学官連携政策 **座長：福田 覚** **14:30~15:15**

- 604B1430-1 産学連携学会におけるメールニュースの設計その3
－小規模学会における各種メディアとの連動設計・学会の情
報と意思を共有する各種手段の総合的理解と設計
○湯本長伯（社会構造設計研究所）
- 604B1430-2 東北地域における地域新電力の地域経済波及効果の考察
○柴崎香織（東北経済産業局）
- 604B1430-3 東日本大震災からの復興過程で蓄積された資産を活かした持
続可能な地域づくり

産学官連携政策 座長：中田 泰子 15：30～16：00

- 604B1530-1 産学連携ガイドライン【追補版】の普及活動を通じた課題の整理について
○馬場大輔（経済産業省）
- 604B1530-2 我が国イノベーション推進に寄与する「イグ・イノベーションコンテスト」事業の設計と本学会のブランディング
○湯本長伯（社会構造設計研究所）
- 604B1530-3 「知」の集積と活用の場®
産学官連携協議会の新たな活動方針について
○佐藤拓也（農林水産省）

産学官連携プロジェクト 座長：桑島 修一郎 16：30～17：15

- 604B1630-1 青森県産トラウトサーモン大規模養殖の産業化に向けた調査研究の取組み
○福田覚、若狭幸、吉田暁弘、久保田健、永長一茂、前多隼人（弘前大学）、岡村恒一（株式会社オカムラ食品工業）鈴木宏介（日本サーモンファーム株式会社）
- 604B1630-2 産学連携を通じた文化の仕掛けづくりの実践
○関口英里（同志社女子大学）
- 604B1630-3 別業界から医療機器業界に参入のための検討 - 産学連携の視点から -
○中嶋一喜、江田英雄（光産業創成大学院大学）

産学官連携に関連した大学等の法令等順守

座長：緒方 智成

11:00~11:30

- 604C1100-1 研究不正はいかにして起きるか—特に組織との関りについて
○新谷由紀子、菊本虔（筑波大学）
- 604C1100-2 リスクマネジメント業務の業績評価についての考察
○河合孝尚（長崎大学）

産学連携論

座長：川崎 一正

13:00~13:45

- 604C1300-1 コロナ禍でも多数のイノベーションを創出している堀切川モデル
○林聖子（亜細亜大学）
- 604C1300-2 セクター間連携における研究支援人材の段階的成長モデル
—多能工型研究支援人材育成コンソーシアムの活動から—
○伊藤正実（群馬大学）
- 604C1300-3 島根大学における島根県内企業との共同研究の実施状況
○北村寿宏（島根大学）、川崎一正（三条市立大学）、
竹下哲史（長崎大学）、秋丸國廣（愛媛大学）

産学連携論

座長：南 了太

14:00~14:30

- 604C1400-1 文理融合大学院における産学官連携に関する一考察
○桑島修一郎（京都大学）
- 604C1400-2 組織間連携における知の交換の検討
○岡田晃行、江田英雄（光産業創成大学院大学）

産学連携論 **座長：中川 勝吾** **14：45～15：30**

- 604C1445-1 地域振興に貢献する地域と大学との関係（第7報）
～北見を例に：自治体と大学との関係解析3～
○内島典子（北見工業大学）
- 604C1445-2 島根県における企業の産学連携に対する意識調査および今後の課題
○服部大輔（島根大学）
- 604C1445-3 地方大学における産学共同研究の実状解明の実証的研究
— 17 新潟大学における共同研究の相手先の地理的分布
○川崎一正（三条市立大学）、勝見一生（新潟大学）、北村寿宏（島根大学）、竹下哲史（長崎大学）、秋丸國廣（愛媛大学）

産学官連携プロジェクト **座長：片山 精** **15：45～16：30**

- 604C1545-1 共同研究講座 15年・協働研究所 10年での活動の展開 1 ～人材育成の取組～
○田中敏嗣、荒平智子（大阪大学）
- 604C1545-2 共同研究講座 15年・協働研究所 10年での活動の展開 2 ～企業から見たメリットと学術的成果～
○秦茂則（大阪大学）
- 604C1545-3 共同研究講座 15年・協働研究所 10年での活動の展開 3
～産学連携論研究会の取り組み～
○中澤慶久（大阪大学/徳島大学）、
鈴木伸昭（大阪大学/日立造船）、田中敏嗣（大阪大学）

国内最大規模の産学マッチングイベント

今年もオンラインで開催!!

イノベーション Innovation JAPAN 2021

大学見本市 Online

いつでも

どこでも

今年も大学見本市 Online で
大学等の最新技術シーズを発見しよう!

何度でも

気になる
その
内容は

- ・日本全国の大学等技術シーズが閲覧可能!
- ・シーズとの出会いとマッチングを支援!
- ・基調講演、出展研究者ピッチプレゼンを配信!

※掲載内容は予定であり、実際の開催時には変更となる場合があります。

一般公開期間

2021年8月23日月～9月17日金

閲覧無料
参加登録有

主催

 国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

共催

文部科学省

詳しくはコチラ! >>>

<https://www.jst.go.jp/tt/fair/>



※上記は「イノベーション・ジャパン2021～大学見本市 Online」の URL ではなく、開催案内等を掲載したものととなります。

お問合せ

国立研究開発法人科学技術振興機構 産学連携展開部 産学連携プロモーショングループ
イノベーション・ジャパン～大学見本市担当 ✉ entry@jst.go.jp

新技術説明会

New Technology Presentation Meetings!

発明者自ら実用化を展望した技術説明を行い新たな産学連携を創出！

大学等の最新技術と出会う！ 「新技術説明会」の特長

- ✓ 未公開特許発表
- ✓ ビジネスマッチングを意識したプレゼンテーション
- ✓ 個別相談会会場を併設（実開催時）
- ✓ 4万通以上の開催案内メールを企業等へ配信
- ✓ 発表資料を Web サイトに掲載

多くの研究機関に発表の場を提供 3つの開催形式

より多くの研究機関が技術を発表できるよう、複数の開催形式を用意しています。

単独開催

ひとつの研究機関が単独で開催

合同開催

複数の研究機関が技術を持ち寄り、合同で開催

JSTシーズ

JSTの事業から生まれた技術を事業ごとに開催

充実のプレゼン資料さらに発表動画も 「発表技術アーカイブス」

過去に開催された新技術説明会の発表資料、プレゼン動画を掲載。是非ご覧ください。

発表技術アーカイブス
<https://shingi.jst.go.jp/list.html>

数字で読み解く！

新技術説明会

New Technology Presentation Meetings!

発表技術数

2,007件

マッチング率

48.2%

平成28年度から令和元年度までの発表数。

平成28年度から令和元年度までに発表された2,007件の技術のうち、98件が「共同研究」「技術指導」「サンプル提供」「研究会発足」「ライセンス」といったマッチングに繋がっています。

開催数

323回

平成28年度から令和元年度までの開催数。

平均聴講者数

166.1人

平成28年度から令和元年度までに発表された2,007件のプレゼンテーションの平均聴講者数

新技術説明会を読み解く数字は他にも！
詳しくは新技術説明会ホームページにて

📢 JST はオンライン開催で産学連携を支援します

全国
どこからでも
参加可能!!

新技術説明会は令和3年度もオンライン開催を実施します。
プログラム続々更新中、WebサイトをCheck!

<https://shingi.jst.go.jp>



国立研究開発法人

科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency

産学連携展開部

産学連携プロモーショングループ